

九十九島岩がき



「九十九島岩がき」(イワガキ)は、冬(12月～2月)に出荷の最盛期を迎える「九十九島かき」(マガキ)に対して、初夏(5月～8月)にその最盛期を迎えるカキとして、平成23年度から市内でそのブランド化に取り組んでいます。

佐世保を代表する冬の味覚「九十九島かき」です。すでに実証されているように、この「九十九島岩がき」が養殖されている九十九島では、島の山々から豊富な栄養分が流れ込み、カキのおいしさをより豊^{ほうじゆん}でクリーミーに育て上げ、さらにリアス海岸の複雑な入り江に包まれ、波静かであるおかげで、身入りがよくなるというカキの生育には最高の条件がそろっています。

また、冬の「九十九島かき」よりも大ぶりの肉厚で、ほのかな甘みの中に濃厚な味わいがあり、定番の焼ガキや蒸しガキでお召し上がりいただくのはもちろん、生食用の「九十九島岩がき」では、この時期冷蔵庫等でキンキンに冷やして食べるのも夏の「九十九島岩がき」の醍醐^{だいご}味の一つです。

「九十九島かき」に比べるとまだまだ生産・流通量は少ないものの、市内の一部飲食店やネット販売等で販売されています。

夏の冷たい飲み物との相性が良い「九十九島岩がき」を、未体験の方もどうぞ今夏にご賞味ください。

主な販売場所 マルモ水産 ☎ 28-0602

📍水産課 ☎ 24-1111

人の動き(7月1日 現在)

- 総人口 244,379人(前月比 -175人)
男性 115,862人(-118人)、女性 128,517人(-57人)
- 世帯数 105,068世帯(前月比 -28世帯)
- 6月中の動き
転入 392人、転出 509人、出生 173人、死亡 231人

佐世保市公式 SNS

ハッシュタグキャンペーン 2020



九十九島でヨット # 佐世保ファン



サイクリング # 佐世保ファン

今回のテーマは「画面を越えて世界に届け！みんなに伝えたいさせぼの魅力」です。

ご自身のフェイスブックやツイッター、インスタグラムに「# 佐世保ファン」を付けて写真や動画を投稿してください。応募者の中から抽選で「佐世保バーガー」(5個入)または「長崎和牛サーロインステーキ」(4,000円相当分)をそれぞれ3名様にプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています。

日程 来年1月11日(月)まで

※昨年までの応募作品の一部は佐世保移住サポートサイトでご覧になれます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

市ホームページは
こちらからどうぞ



📍情報政策課 ☎ 24-1111

させぼ市政だより

テレビ NBC 土曜 9:25～9:30、KTN 土曜 11:45～11:50
NCC 土曜 16:25～16:30、NIB 日曜 6:30～6:35

ラジオ FM長崎 火曜 9:05～9:10
FMさせぼ 金曜 13:00～13:55
金曜 16:00～16:55(再放送)
土・日曜 10:00～10:55(再放送)

新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

市長日記

市政功労者の皆さまに心から敬意を表します



例年、市制施行記念日である4月1日に開催していた「佐世保市制施行記念式典」と「市政功労者表彰式」が本年度は中止となりました。当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月7日に延期し開催する予定でしたが、その前日に大雨・洪水警報が発表され、災害発生の可能性が高まったため、やむを得ず中止の判断をせざるを得なくなったものです。

この式典を4月1日に開催できなかったのは、戦後75年の歴史の中で、恐らく初めてのことではなかったかと思えます。今回の世界的な新型コロナウイルス感染症の影響、そして、九州各地を襲う大雨などの影響の大きさを改めて感じました。

ことしの式典では市政振興、地方自治、産業経済、教育文化、社会事業、民生、保健衛生、寄附、治安、勤労、善行の部門で、118名の個人と5つの団体が、永年のご功績などによって表彰を受けられる予定でした。

今回、開催できなくなってしまい、大変申し訳なく思っておりますが、受賞者のお名前などは本紙(16ページ)でお知らせいたしますので、市民の皆さまとともに、そのご功績をたたえ、心から敬意を表したいと思えます。受賞者の皆さまには、どうか今後とも市民の範としてご活躍いた

だきますとともに、引き続きご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

そして、4月1日開催の場合は、相浦小学校高島分校の全校児童6人による「宮の本遺跡の学習発表」をお願いしていたのですが、それも実現できず本当に残念でした。素晴らしい発表を市民の皆さまに披露していただく機会がなくなってしまい、この紙面をお借りし、改めましてお詫びしたいと思います。また、いつの日かお披露目されますことを楽しみにしています。

この新型コロナウイルスの影響によって、本市においても、さまざまな行事やイベントが中止や延期になっています。しかし、本市では市民の皆さまに「新しい生活様式」の取り組みをはじめ、それぞれのお立場で工夫を凝らし、さまざまな感染症予防に取り組んでいただいております。そのおかげで、感染は最小限に留めている状況であります。

今後は「with コロナ」(新型コロナウイルスと共存して生活していく考え方)を意識していただきながら、私たちの仕事や暮らしを守ることに、さらに軸足を置いた取り組みが必要となってきますので、市民の皆さまには、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 101

聞いて「徳」する話 62 いつか来るその日のために

新型コロナウイルス感染症の予防のためにマスクを付けて生活する日々が続いています。季節は夏を迎えますが、「コロナに負けるな」と自分に言い聞かせて、マスク生活を送っています。そんな中でも、ご近所さんや知り合いとのあいさつは欠かさないように心掛けています。

ある日、近所の小さな子どもにあいさつをするとマスク越しに返事がありました。その時、にっこりとした目元が見えました。「目は口ほどに物を言う」と言いますが、マスクを付けているため顔の上半分しか見えていない中、無邪気に笑った瞳が印象に残り、爽やかな風が吹いたようでした。この時、自分はどんな顔をして「こんにちは」と言ったのか、後で気になりました。

新型コロナウイルスが終息しマスクを外せる時が来たら、目も口も全て笑顔であいさつをしようと思えます。いつか来るその日のために、できるだけ気持ちを腐らせないように自分に言い聞かせて、備えていきたいと思えます。

(匿名希望)



「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市HPからダウンロードすることもできます。

📍佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856